

みんなで咲かそう 安全・安心まちづくり
**笑顔のハート
MERRY
IN TOSHIMA**
豊島区

笑顔のハート
MERRY in TOSHIMA
詳しくはこちらを参照
<http://toshima80.com>



幸せまちを つくるんだいっ!

「としまフクロウ」の悩みとセーフコミュニティ!?

クロッチのふるさと、東京の豊島区と新宿区にまたがる「目白・落合」界隈です。
ふるさとを日本一安全・安心なまちにするんだ!とクロッチは
豊島区制施行80周年記念イベント「笑顔のハート MERRY IN TOSHIMA」の
ナビゲーター役を買って出ました。第1回はそのいきさつのお話です。

文=山下治子
写真=井伊杏

困りごとなら 聞いてあげるよ

「ああ、まぶしいなあ」。クロッチは、照りつける太陽をギロツとにらんで、久しぶりの池袋界隈を散歩していた。路地裏がちよっときれいになったように感じたが、それは夏の太陽のせい目ぼぼんやりしているからだろうと気にしないことにした。

「あ、そうだ。ここまで来たのも何かの縁だ。区役所のアイツのところへ行って涼むとするか」

急に足どりも軽くなったクロッチ。区長室にいるフクロウさんに会うべく、赤いスカーフをなびかせ、池袋駅近くにある豊島区役所を訪ねた。

「よっ、元気? フクロウさんよ」
「なにやらデスクのまわりをチョコチョコと歩きながら、「うーん、それもいいかな。いや……」などと一人考えごとをしていたフクロウだったが、その声にビックリ! 「おお、久しぶりだねえ」



「そうだなあ、何年ぶりかな。それにしても、相変わらず忙しそうだな。元気そうだけど、ちよっと浮かないな。えっ? 悩みでもあるのか?」

「そう見える? さすが、クロッチ。当たり前だな」
「ちえっ、そういうことで大当たりしてもなんだか嬉しくないね。それともおいらの好物の魚でもこっそり用意してるとか?」

「うーん、困った、困った」
フクロウは大きな目を見開いて、「困った」をけつこつ元気よくあと3回言った。大きな頭と羽根で覆われた身体をスッシーンと沈ませながら。それでクロッチは直感した。「ここはまずは、聞くことだ!」と。

「おい、フクロウさん。その困ったことをおいらに正直に言ってみてくれないかな。フクロウさんは頭脳明晰だから考えてばっかりいるけど、おいらには熱いハートと猫足のフットワークがあるんだぜ」



フクロウさんはやっとな大きな顔と身体をこちらに向けてきた。「そうだな。じゃあ、君は、セーフコミュニティって知ってるか?」

おいらにも関わる 大事なことだ

いきなり聞いたこともない言葉だったが、まあ、そのうちわかるかもしれないと忍耐で、「困った」のわけを聞くことにした。あれこれ語ってくれてわかったのは、こういうことだった。

これまで豊島区では、区民とともに「安全・安心」なまちにしようとしていることに取り組んできたんだけど、5月に、WHO(世界保健機関)協働センターが推進する「セーフコミュニティ」のメンバーとして国際認証を得ることができたんだそう。これは日本では5都市めで、この広い人間がいっぱいの東京では初

めてのことだとか。ただし、これって認証されたことがゴールではなく、ちよっと気取っていうと「サステイナブル」であること——つまり「ずっと続けていける」取り組みにしていけることが大切ってことなんだ。そうだよな、おいらも道にゴロゴロ転がった空き缶のギザギザで足を切って血を流したり、路地裏が暗くて仕掛けであったネズミ捕りにしつぽをバクツと挟まれそうになったりする。



「セーフ、安全、安心」って盛り上がりかねえといけないってことだ

ともに「クロー」しようぜ

「そうだ、クロッチ! さすがだ! クロッチは危ない体験も多から、呑み込みが早いのかな」
「それって、褒められてんの?」
「そうだよ、もちろん」
「あ、フクロウさん、元気があふれてきたな。羽根の先までビビビっとな。おいらも断然、応援するよ」
「クロッチ、ありがとう! 応援よろしくな」
「あんな、言っちゃなんだけど、あ

「だろ、そのなかに、クロー、ってあるだろ。おいらはクロッチ、クロー、がともにある。苦勞をともにしようじゃねえか」
「ありがとう。クロッチ!」
二人はともに手を

取りあって、セーフコミュニティへの活動を誓った。そしてクロッチは、道がちよっときれいになっていたことを思い出していたのだった。



お年寄りが案外多くて、ときどき何か困ったことがあったらおいらに言ってくれ、できれば猫語で——なんてこと心配しちゃうよな。それって、一人や二人でやってみようがないってことか。「つまり、ほんとうにセーフなコミュニティを実現するには、要するになんだ、豊島区民やここに勤めや遊びに来る人たちみんなが、



豊島区長の
高野之夫です
クロッチくん
たのんだよ!